

瀬戸石ダム下流・調査見学会

荒瀬ダム撤去効果は続くのか



荒瀬ダムゲート開放後、干潟でアナジャコ取りをする人々



瀬戸石ダム

2018年3月、荒瀬ダムの撤去工事が完了しました。撤去効果は、水質向上や荒瀬ダム湖にたまっていた土砂の下流や八代海への供給だけにとどまらず、川や干潟での生態系の再生など計り知れないものがありました。

しかし、最近荒瀬ダム湖の土砂がなくなりつつあります。なぜなら、上流に瀬戸石ダムがあり、下流への土砂の供給を瀬戸石ダムが妨げているからです。荒瀬ダム湖だった所の土砂が無くなったら、その後は堰と瀬戸石ダムがある球磨川に戻ってしまいます。

今回、荒瀬ダム湖だったところから瀬戸石ダムの間での礫（小石）の大きさを調査することで、荒瀬ダムの撤去効果や球磨川が今後どうなるのか、そして球磨川の再生には何が必要かを考えます。

集合日時：2019年8月4日（日）13:00

集合場所：道の駅・坂本

講師：つる詳子さん（自然観察指導員熊本県連絡会会長）

参加費無料

主催・問合せ：瀬戸石ダムを撤去する会 080-3999-9928 土森

*小雨結構です。日除け、虫刺され対策は各自、お願いします。また水に濡れたり汚れたりしてもいい格好でご参加ください。